

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成26年 7月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台1丁目1-3	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社椿本チエイン 京田辺工場 執行役員京田辺工場長 古世 憲二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	株式会社椿本チエイン 京田辺ユニット 環境マネジメントマニュアル（IS014001）
適 用 範 囲	株式会社椿本チエイン京田辺工場ほか4箇所
導 入 年 月 日	2003年 9月26日
認 証 番 号	JQA-EM3392
基 本 方 針	地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置づけ、 事業活動において以下の方針により自主的に 環境管理活動に取り組む 1. 汚染の予防と環境マネジメントシステムの 継続的な改善を図る 2. 関連する法規制・協定および顧客要求等を 順守する 3. 当ユニットに働く全ての人が環境方針の 理解を深めると共に、環境保全の重要性 を自覚して、その維持・向上に努める
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための 目標（以下「目標」という。）	CO2排出量の削減（2020年度に2005年度比15%削減） （2013年度比 1%の削減） 再資源化率の向上（2014年度末に98%以上） 再資源化率の向上（2014年度に98%以上維持） 環境を考慮した商品の拡大と拡販 （2014年度、対象商品発売件数6件）
目 標 を 達 成 す る た め の 取 組 の 内 容	添付 環境方針 2014年度環境目標 環境目的長期計画書  参照
目 標 を 達 成 す る た め の 取 組 の 進 捗 状 況	・射出成形機油圧式を電動サーボモーター式へ更新（10月度実施） ・コンプレッサーインバーター式へ更新（6月度実施）
目 標 を 達 成 す る た め の 取 組 の 成 果 及 び 当 該 成 果 に 対 す る 評 価	エネルギー実績前年比101.8%増加により原単位1.3%増加。要因として 1. 夏季の節電対応によりコ・ジェネ発電機稼働時間増加 2. 外製品の内作化 また一般事業者の二酸化炭素排出係数が上昇もあり二酸化炭素排出量も前 年比112.5%上昇(0.450t-CO2/千KWH→0.514t-CO2/千KWH・同係数であれば 101.8%)
事 業 活 動 に 係 る 法 令 の 遵 守 の 状 況	添付（経営層による見直しチェックリスト）により、事業活動を見 直している。各関連法規の遵守状況についてこれまで違反又は行政 から指摘等はなし。
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 評 価 及 び 見 直 し の 内 容	原則環境管理委員会を3ヶ月に1回、環境マネジメントレ ビューを年1回実施し、環境目標の進捗フォロー、検証及び次 年度の環境目標の審議を行っている。 平成25年度に策定した2ヵ年計画にしたがい平成26年度 もマネジメントシステム維持、向上を進める。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。